

療養場所の違いに応じた認知症者のエンドオブライフケア充実に向けての調査研究  
—COVID-19流行の影響も踏まえて—

研究分担者 会田 薫子 東京大学大学院人文社会系研究科

### 研究要旨

認知症を有する高齢者のためのエンドオブライフケアの意思決定支援に関して、研究分担者の島田千穂氏らとともに、全国の特別養護老人ホームにて勤務する介護支援専門員を対象とする質問紙調査を実施した。その結果、看取りに関する介護支援専門員の役割認識の実態等が明らかになり、介護支援専門員が看取りケアプランの作成に際して、利用者本人や家族の不安や思いを聴くことを自身の役目として認識していないことが明らかになった。並行して文献調査を行い、認知症を有する高齢者への意思決定支援のあり方について検討し、本研究班の来年度末の最終成果物の1つとなる「意思決定支援の手引き」の骨子を整理した。

#### A. 研究目的

認知症を有する高齢者のためのエンドオブライフケアの意思決定支援のあり方を改善するため、看取りの場所の1つとして重要性を増す特別養護老人ホームの介護支援専門員を対象に、看取りケアマネジメントに関する調査を実施し、介護支援専門員の認識と実践を明らかにする。

並行して、来年度末の本研究班の成果物である「意思決定支援の手引き」作成のため、文献調査を行い、手引きの骨子を整理する。

#### B. 研究方法

厚労省の介護サービス情報の公表システムデータのオープンデータに登録された介護老人福祉施設から3,000か所を無作為に抽出。施設長宛てに調査票を郵送。回収数、23.7%。

文献調査においては、日本の思想・文化と法・制度に合った意思決定支援に関する文献研究を進めた。

(倫理面への配慮) 特養調査に関して、回答の内容送付に同意のなかった返送20通を調査分析から除外した。

#### C. 研究結果

特養調査では、看取りケアプランの作成に関して、苦手意識を有していない介護支援専門員が約65%を占めることが明らかになった。しかし、看取りケアプラン作成に関して利用者本人とその家族の思いや不安を聴くことを自らの職

務と認識している介護支援専門員はそれぞれ17%と31%に留まることが示された。

文献調査に関しては、日本には法・制度がない「意思決定代理人」が英語圏のテキストの翻訳版として日本社会に拡散している状況が認められた。また、本人が認知症を有している場合は家族に意思決定を求めることが一般的であることが再確認された。

#### D. 考察

特養の多忙な現場において介護支援専門員が利用者とその家族から直接話を聴く機会は限定的であり、本人の意向を尊重し家族の感情と事情にも配慮して看取りプランを作成し、適切な看取りを実施するためには、多職種間での情報共有を一層促進する必要性が認められたといえる。介護支援専門員を含め多職種が仕事のやりがいを実感しつつ看取りまで務めることができるよう労働環境の改善も必要と考えられる。

文献調査に関して、日本における意思決定支援のあり方が北米のテキストに依拠しており、倫理原則も北米型を軸としていることが示され、それによって日本の現場で諸問題が生じていることが示唆された。

#### E. 結論

本研究班が来年度末に発表する「意思決定支援の手引き」では、日本の現状に沿いつつ、その

改善につながるような内容とする。その際、日本人の精神の基層を認識し、日本の法・制度に合った内容として、それを新規性の1つとする。

また、最終の成果物の発信のため、令和6年3月17日にシンポジウムを開催する。その際、会田の研究室が中心的に準備する。

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

- 1) Hirakawa Y, Aita K, Nishikawa M, Arai H, Miura H: Tips for managing ethical challenges in advance care planning: A qualitative analysis of Japanese practical textbooks for clinicians. International Journal of Environmental Research and Public Health 2022 ;19(8):4550. doi: 10.3390/ijerph19084550.
- 2) 会田薫子、「意思決定支援」、『超高齢者の緩和ケア』（桑田美代子、吉岡佐知子、西山みどり共編）、南山堂、2022年10月、pp.75-81.
- 3) 会田薫子、「意思決定」、『看護学テキスト Nice シリーズ エンドオブライフケア — その人にとっての最善をめざして』（谷本真理子・増島麻里子共編）、南江堂、2022年12月、pp.59-65.

### 2. 学会発表

- 10) 会田薫子、教育講演1「アドバンス・ケア・プランニング — 人生の最終段階における意思決定支援」、第23回日本認知症ケア学会大会、WEB講演(オンデマンド)、2022.6.18~9.30.
- 11) 会田薫子、「人生の最終段階を支えるエンドオブライフケアのデザイン — ガイドラインにみる基本的な考え方」、Good Practice Seminar 1「人生の最終段階を支えるエンドオブライフケアのデザイン」、第27回日本老年看護学会学術集会、WEB講演(リアルタイム・オンデマンド)、2022.6.25~7.25.

## G. 知的財産権の出願・登録状況

### 1. 特許取得

なし